

# TAKUの 我行我素

## みんないつもありがとう！

いきなりで何なのですが、先日4/13に行われた肺ガン闘病中のジョニー大倉さんのライブに陣中見舞いに行っていました。



俺にとってキャロルは、どうしても人生で外せない重要なバンドなわけで、もし永ちゃんがいなければ今頃ベースなんてやってなかっただろうし、ジョニーさんがいなければ俺の歌唱法もまったく違ったモノになっていたはず。

てかそもそも日本でロックンロールなんて音楽をバンドでやろうなんて発想にはならなかったかもしれません。いわばハードルのとても高かったビートルズを、当時の俺にもできるような噛み砕いてお手本を示してくれたようなもので、イメージ、ファッション、ヘアスタイル、演奏、アレンジ、作詞、作曲、どれをとってもキャロルなくしてはありえませんでした。そして銀蠅デビュー後も、10歳位上の先輩としてずっと彼らの背中を見ながら30年キャリアを重ねてきたわけです。



そんな先輩であるジョニーさんが肺ガンに倒れたのが昨年。でも実はね。ここんところジョニーさんだけではなく、名前を出せませんが他にもロックンロールの偉大な先輩がガンに倒れたりしていて、それ以前にもすでに亡くなった仲間も数人いるわけで、てかそもそも我らのリーダーの嵐さんも脳梗塞リハビリ中だし、とにかく人生について色々考えるきっかけが続いていた今日この頃だったんですね。それもどちらかというとなガティブな方角で。

でもそんなお朗報が届きました。ジョニーさんのライブ復活です。しかもキャロル記念日の4/13！ いやいや嬉しかった。本当に嬉しかった。だってね。実は俺的にとても後悔というか、残念な思いがジョニーさんに対して残ったままになっていたんですよ。というのは、俺はそれまで毎年ジョニーさんの周年ライブには必ずお邪魔してちょろっとステージに上げていただいていたんですが、なぜか昨年の4/13は、せっかくジョニーさんからセッションのお誘いを受けていたのにスケジュールの都合で参加できなかったんですよ。んで、した途端のガンのニュースでしたからね。そんな時やっぱどうしても、もしかしてって最悪の事態も考えちゃうでしょ… 彼の最後のステージだったのかもしれない的な… そしたらお誘いを断ったことが俺の中で後悔としてずっと残っていて… それはもう残念で。

でもそんな中ライブ復活の知らせです。俺はさっそく嵐さんに連絡して、だって嵐さん副業でパワーストーンのプロデュースしてますからね。ジョニーさんの為にパワーブレスを作ってもらいました。名づけて“Johnny Be Back!”



それを持って駆けつけた楽屋でのジョニーさんは車椅子で不自由な様子でしたが、眼が燃えていました。こっちが言葉を失うくらいにこの日のライブに賭ける気迫がこもっているその眼を見ながらお話している時、やはり男にとって一番大切なのは“気持ち”“強い心”なんだと改めて勉強させていただきました。あ もちろん嵐さん作のブレスは右腕にしっかりジャストフィットです。(笑)



本番の話は、ずっと俺泣いてたので省略ww  
とにかく、応援に行ったつもりが逆に応援してただいてしまいました。  
これからも頑張るぞ〜!  
夜狼獅琥(^-^b

TAKU